

## (13)自由意見

自由意見は249件\*の意見がありました。意見の種類としては、サービスに関する事、経済的支援に関する事、子どもの特性に応じた指導などの教育に関する事、家族介護者に関する事が多くなっています。

特に、移動支援の拡充やグループホームを作してほしいという回答が多くあり、そのほか交通費の助成や所得制限の廃止などの経済的支援、インクルーシブ教育の体制確立、特別支援学級教員の増員、介護者の高齢化や介護の負担などに意見が集まっています。教育において、「インクルーシブ教育で、小・中学校で先生方の配慮や学校と特別支援教育センターとの協力、友達ができたことで、予想以上の成長ができた。」や、「芦屋市は障がいのある人にやさしい市」という評価をする意見もありました。

(下線の箇所は意見が3名以上からあがったもの)

\*1つの回答に複数の意見が含まれている場合は、それぞれ1件とカウントしており、上記件数は意見の総数を示します。

	意見内容	件数
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動支援のサービス拡充を望む。</li> <li>・<u>グループホームを作してほしい。</u></li> <li>・ショートステイの増設、利用手続きの簡略化。</li> <li>・本人のパニックや、介護者の体調不良、急な用事の際など、緊急時に対応してくれる仕組みや預け先を増やしてほしい。</li> <li>・日中、放課後、もっと気軽に預ける所がほしい。</li> <li>・事業所やヘルパーによって、同じ時間内でのサービス提供に差がある。</li> <li>・放課後等デイサービスを増やしてほしい。</li> <li>・放課後等デイサービスの質や内容、設備に差がある。</li> <li>・デイサービスの日時を長くしてほしい(土曜や朝8:30~など)</li> <li>・余暇の過ごし方で重度の障がいのある人が参加できるものがほしい。</li> <li>・障がいのある人が参加できる水泳教室、パソコン・スマホ教室などを希望する。</li> <li>・家族に複数人の障がいのある人・障がいのある児童・病人がいるケースへの支援を望む。</li> <li>・障がいの程度に分け隔てなくサービスを受けられるようにしてほしい。</li> <li>・障がいのある人への子育て支援がほしい。</li> <li>・ヘルプマークのタグを配布してほしい。 など</li> </ul>	41
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車が歩道を走らないようにしてほしい。</li> <li>・歩道の整備(段差、車いす利用時の傾斜面など)。</li> <li>・バスの乗降時ステップと道路の段差の改善。</li> <li>・バスの便数減少に対応し、コミュニティバスを検討してほしい。</li> <li>・障がい者手帳によるバス運賃割引の利用時、運転手によって対応が違うので、手引きに利用の仕方を記載してほしい。 など</li> </ul>	6

	意見内容	件数
就業支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で働ける場所を増やしてほしい。</li> <li>・正社員や契約社員でも週3日勤務や在宅勤務ができる企業が増えてほしい。</li> <li>・企業やA型就労支援、福祉事務所において、障がいの程度に関係なく働けるようにしてほしい。</li> <li>・就労支援のサポートをもっと手厚くしてほしい。</li> <li>・発達障がいを理解してもらうことが難しいため、仕事を探す支援をしてほしい。</li> <li>・精神障がいのある人でも働きやすくしてほしい。 など</li> </ul>	10
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽度の発達障がいやグレーゾーンの子どもの支援の充実。</li> <li>・個々の子どもに応じた支援、指導ができるよう小学校の特別支援級教員を増員してほしい。</li> <li>・インクルーシブ教育の体制をしっかり確立してほしい。</li> <li>・インクルーシブ教育は、学校によって支援・指導方法が全く異なるので、統一するようマニュアル化してほしい。</li> <li>・個々人に合った教育を受けさせてほしい。</li> <li>・高校でもインクルーシブ教育が受けられるようにしてほしい。</li> <li>・障がいのある児童向けに、高校の通級をもっと増やし、近くに専門学校などが増えてほしい。</li> <li>・幼稚園・小学校・中学校間で情報の共有など連携してほしい。</li> <li>・未就学のうちはフォローが手厚いが、就学後は療育相談が小1までなので、継続した支援がとぎれてしまいそうで不安。</li> <li>・インクルーシブ教育で、小・中学校で先生方の配慮や学校と特別支援教育センターとの協力、友達ができたことで、予想以上の成長ができた。 など</li> </ul>	21
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立病院で、身体や言語のリハビリができる体制や、持病のある障がいのある人のショートステイができるようにしてほしい。</li> <li>・医療費の負担が非常に大きい。 など</li> </ul>	5
窓口対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの窓口が連携不足でたらい回しされる。各窓口の担当業務がわかりにくい。</li> <li>・待ち時間が長く、対応がよくない。</li> <li>・単に手続きをするだけでなく障がいのある人の目線に立って対応してほしい。</li> <li>・障害年金の手続きが大変。記入例もなく職員も障がいのある人に寄り添ってくれない。職員の障がいのある人に対する理解・知識を深めてほしい。 など</li> </ul>	5
人権	<ul style="list-style-type: none"> <li>・差別や偏見が未だに根強い。ひとりひとりが考え方を変えない限り絶対になくならない。</li> <li>・いくら行政が窓口を開きサービスを充実させても、精神障がいのある人に対する世の中の考え方が変わらない限り、サービスを受けられない。</li> <li>・身体障がいになったことを会社にも報告をしているが、他の人と同様の仕事、成果を求められる。</li> <li>・障がいのある人の性に関する悩みについて、表立って語られることが少ないからこそ、真剣に考えてほしい。</li> <li>・障がいのある人にとって住みやすい、差別のない町になってほしい。 など</li> </ul>	9

	意見内容	件数
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援の情報を知る機会や手段が少ない。</li> <li>・児童発達支援のトレーニングの目的や状況説明などのフィードバックがほしい。</li> <li>・移動支援事業所の一覧表に、事業所の特徴などを記載してほしい。</li> <li>・高齢になると何らかの支援やサービスが必要になるので、情報提供を願う。</li> <li>・収入がなくなれば住居の不安も出てくるので、市営住宅等の情報が随時ほしい。</li> <li>・障がい者情報誌（こころの元気）のような充実した教材をつくり、当事者にも健常者にも理解を深めてもらいたい。 など</li> </ul>	9
経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者保健福祉手帳所持者に対する交通費の助成。</li> <li>・所得制限の廃止。</li> <li>・地下鉄、ポートライナー、バスと提携した無料パスの交付。</li> <li>・福祉タクシー利用券の増額、使用上限を増やしてほしい。</li> <li>・市の障がい児福祉手当の増額。</li> <li>・軽度知的障がいの子どもへの学習面でのサポートは自費負担が大きいので手当がほしい。</li> <li>・軽度の障がいのある人への経済的支援。 など</li> </ul>	19
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時避難場所まで移動できるか、避難先での薬の調達など不安が大きい。お薬手帳がなければ薬の説明は難しいので、避難時に相談場所をすぐに設置できる対策をしてほしい。</li> <li>・災害・り災に対して、芦屋市では助成金援助が全くなく大変不満。</li> </ul>	2
交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がいの当事者会の夜間開催（仕事帰り）、発達障がい当事者会における保育サービス（子どもの見守り、あるいは一時保育）への公的支援を、市で検討してほしい。</li> <li>・保健福祉センターでの精神障がい者家族会の勉強会を増やしてほしい。</li> <li>・障がいのある人同士、または健常者との町コンをしてほしい。</li> <li>・障がいのない人との交流により、障がいは、一人一人の個性だと感じられたらよい。</li> <li>・作業所の終了後や休日に立ち寄って仲間と集える場所や、定期的に利用できる居場所（趣味や文化教室など）があればよい。</li> <li>・高校を卒業すると放課後デイサービスが利用できなくなるので、18歳以上が過ごす場所を増やしてほしい。</li> <li>・障がい特性や病状の軽度に応じた居場所づくりを検討してほしい。 など</li> </ul>	9

	意見内容	件数
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健福祉センターが駅から遠く利用しにくい。市役所内や、駅の近くに支所を設けてほしい。</li> <li>・市役所や保健福祉センターなど、働いている障がいのある人のために、午後5時以降も利用できる日を設けてほしい。</li> <li>・市民センターは便利だが利用料が高い。市内在住の人に限定される活動しか支援されないのでは活動がしにくい。</li> <li>・障がいのある人が使えるスポーツ施設がほしい。</li> <li>・障がいのある人や障がいのある児童が周りを気にせず遊んだり過ごせたりする公共施設が少ない。障がいのある人が過ごせる場作りを考えてほしい。</li> <li>・駅や商業施設などにオスメイト用トイレを設置してほしい。</li> <li>・トイレの段差解消や清掃の充実、エレベーターを通勤時間も使用できるようにするなど、生活に密着した視点での市の開発をしてほしい。 など</li> </ul>	10
親亡き後の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今はショートステイを利用しているが、親亡き後はグループホームがなくては無理。</li> <li>・親亡き後のことが心配。できるだけ他の兄弟の負担にならないようにとも思い、今後どうすればいいのか悩んでいる。 など</li> </ul>	6
家族介護者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者の高齢化。</li> <li>・家族の介護・仕事・家事の負担が大きいため、家事の支援がほしい。</li> <li>・働く親がどのように障がいのある子どもを介護しているのかモデルケースを知りたい。</li> <li>・障がいのある子を生み育てていても、保護者自身が自己実現できるような社会のあり方を望む。</li> <li>・昼は仕事、夜は介護で、体調不良でも休めず自由時間もなし。介護に手がかかるため、レスパイト受け入れ先も少なく、短期入所施設もない。</li> <li>・夜間ヘルパーを切望しているが、人材不足のうえ、重度訪問介護の申請方法がヘルパーを確保してからでなければ申請できないので、見つからない。</li> <li>・日々の介護に疲れる。精神的にもしんどい。レスパイト施設（デイサービス）を作してほしい。 など</li> </ul>	15
相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援専門員の訪問回数や電話回数が少なく、また、電話の時間が短いため不安。精神面での相談窓口がほしい。</li> <li>・平日夜・土日祝に電話相談などのサポートがほしい。</li> <li>・自分だけでなく、家族にも障がいのある子がいるので先々の生活には不安がある。どこに相談すればいいのか。</li> <li>・相談支援専門員が児童発達支援や放課後等デイサービスの情報に詳しく、アドバイスしてくれるとよい。</li> <li>・子どものことを、親の気持ちに寄り添って相談できる環境であるとよい。</li> <li>・発達障がいの思春期～成年期のケアの充実を願う。市の対応が難しいなら民間の相談、発達検査 etc 医療機関を紹介してほしい。 など</li> </ul>	7

	意見内容	件数
駅及び周辺環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR芦屋駅南口の工事で歩道の案内がわかりにくく、歩きづらかった。</li> <li>・ JR芦屋駅につながるエレベーターの増設、北口と南口にエスカレーターの設置を望む。</li> <li>・ 視覚障がいのある人には、JR芦屋駅北側エレベーターで降りた所の階段が非常にわかりづらく降りるのがこわいので、工夫してほしい。 など</li> </ul>	4
事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉施設の方が離職や異動ですぐ担当が変わってしまう。</li> <li>・ 障がい福祉サービスの人材の早期確保と現在の人材の休養が必要。障がいのある人や障がいのある児童に寄り添ってくれる質の高い人材確保が急務。</li> <li>・ 放課後等デイサービスの利用人数が増えて事業所の休みがなくなっていたり、先生の不足で定員一杯で多くの待機がある。設備や建物にお金がかかる土地柄でもあるので、良い事業者にはもっとハード面での補助をしてほしい。</li> <li>・ 医者と事業所の連携を密にして障がいのある人のことを理解してほしい。それによって、支援員が障がいをより理解をすることができ、さらには障がいのある人と支援員の関係がより良くなると思う。</li> <li>・ 環境面や衛生面など行政の指導監視が必要。 など</li> </ul>	7
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電話やPC、郵送でできる手続きが増えればよい。</li> <li>・ サービスを、ホームページでフローチャートとして見られ、必要書類をダウンロードしウェブ申請ができればよい。</li> <li>・ 各種の申請が細分化されていて、高齢の親にも理解しがたいことばかりで、本人ひとりになったらどのように対処するのか不安。</li> <li>・ 障害年金の受給手続きが難しい。</li> <li>・ 手続きのスピードアップを望む。</li> <li>・ 年1回更新しないといけない手続きがあるが、2~3年毎とか人によって期間を変えられたらいいのではないか。</li> <li>・ 障がい者手帳をカード型にしてほしい。</li> <li>・ 障がいのある人は十人十色なので個々に応じた対応をしてほしい。重度加算などの制度があればよい。</li> <li>・ 芦屋市は障がいのある人にやさしい市。</li> <li>・ 芦屋市の福祉サービスにはとても満足し感謝している。 など</li> </ul>	64